

外部評価軽減要件確認票

事業所番号	2371500774
事業所名	サポートハウスごらく

【重点項目への取組状況】

重点項目①	事業所と地域とのつきあい（外部評価項目：2）	評価
	町内会に加入するだけでなく、職員と共に利用者が交替で町内会の「組長」の役割を担っている。 定期的に実施される近隣の公園の掃除にも、いつも職員に交じって元気な利用者の姿がある。	○
重点項目②	運営推進会議を活かした取組み（外部評価項目：3）	評価
	今年度から、運営推進会議が市内にある同法人のグループホームとの共催になった。 地域包括支援センターの職員やそれぞれの地域の民生委員が集り、ホームや地域が抱える諸問題が討議されている。	○
重点項目③	市町村との連携（外部評価項目：4）	評価
	利用者の約半数が生活保護の受給者であることから、区の保護係の担当者との緊密な連携を図っている。 生活保護の担当者が定期的にホームを訪問し、生活保護受給者の生活の様子を見ている。	○
重点項目④	運営に関する利用者、家族等意見の反映（外部評価項目：6）	評価
	利用者の意見・要望には真摯に向き合い、可能な限り実現に向けて支援している。 ターミナル期の利用者が、「外出したい」との要望を持っていることに気づき、困難を伴ったが職員の協力体制の下に実現にこぎつけた。 ホームの状況や利用者の近況を伝える「サポートハウス通信」が毎月発行されており、家族からも好評である。	○
重点項目⑤	その他軽減措置要件	評価
	○「自己評価及び外部評価」及び「目標達成計画」を市町村に提出している。	○
	○運営推進会議が、過去1年間に6回以上開催されている。	○
	○運営推進会議に市町村職員等が必ず出席している。	○
総合評価		○

1. 外部評価軽減要件

- ① 別紙4の「1 自己評価及び外部評価」及び「2 目標達成計画」を市町村に提出していること。
- ② 運営推進会議が、過去1年間に6回以上開催されていること。
- ③ 運営推進会議に、事業所の存する市町村職員又は地域包括支援センターの職員が必ず出席していること。
- ④ 別紙4の「1 自己評価及び外部評価」のうち、外部評価項目の2、3、4、6の実践状況（外部評価）が適切であること。

2. 外部評価軽減要件④における県の考え方について

外部評価項目	確認事項
2. 事業所と地域のつきあい	(例示) ① 自治会、老人クラブ、婦人会、子ども会、保育園、幼稚園、小学校、消防団などの地域に密着した団体との交流会を実施している。 ② 地域住民を対象とした講習会を開催若しくはその講習会の講師を派遣し、認知症への理解を深めてもらう活動を行っている。
3. 運営推進会議を活かした取組み	(例示) ① 運営基準第85条の規定どおりに運用されている。 ② 運営推進会議で出された意見等について、実現に向けた取組みを行っている。
4. 市町村との連携	(例示) ① 運営推進会議以外に定期的な情報交換等を行っている。 ② 市町村主催のイベント、又は、介護関係の講習会等に参画している。
6. 運営に関する利用者、家族等意見の反映	(例示) ① 家族会を定期的（年2回以上）に開催している。 ② 利用者若しくは家族の苦情、要望等を施設として受け止める仕組みがあり、その改善等に努めている。 ③ 家族向けのホーム便り等が定期的（年2回以上）に発行されている。

【過去の軽減要件確認状況】

実施年度	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度
総合評価	×	○	○	○	○	○	◎	○	◎	○	